

社会福祉法人 南生会 特別養護老人ホーム 南生苑

副施設長 岡本 直久

現在の日本は、5人に1人が65歳以上の高齢者である状況ですが、約25年後には3人に1人が65歳以上の高齢者になると言われています。年をとると身体の機能が衰え、日常生活をおくることが難しくなり、今後は支援を必要とする高齢者が増えてきます。核家族化や共働き世帯の増加などにより、家族の代わりに福祉・介護に携わる専門家がたくさん必要となっています。福祉や介護の仕事は、こうした人々を専門家として身体的、精神的に支援することが仕事です。支援を必要している人の生活を理解し、その人に適した支援をすることによって、喜んでもらえる「やりがいのある仕事」です。一人一人の生活を支え、その人の望む方向に「共に生きていく」ということはとても素晴らしいことです。皆様の若いパワーと熱い想いを福祉・介護という分野でぜひいかして下さい。福祉・介護のプロとして、将来同じ業界で働ければと思っています。



介護職員
薬師寺 麗奈
(千葉県立松戸矢切高等学校卒)
社会福祉法人 南生会
特別養護老人ホーム 南生苑

私は介護福祉士を取得し、特別養護老人ホームで働き始めて四年目になります。

介護の仕事をするきっかけくれたのは、今の職場です。中学三年生の職業体験で、現場の雰囲気や楽しさを学ぶと同時にこの仕事がしたい、と思わせてくれました。

特別養護老人ホームでは、利用者様が日常生活を送る為、私たち介護職がお手伝いをさせて頂きます。楽な仕事ではありませんが、利用者様やご家族の方から感謝されることが多く、やりがいを感じることができます。

この仕事をしていて良かったと思うのは、毎日多くの利用者様の笑顔を見ることができる事です。仕事をする上での励みにもなり、私自身を笑顔にさせてくれます。

そして、人生の先輩である利用者様はとても物知りで、私が悩んでいる時には的確で素敵なアドバイスをして下さいます。また、一緒に働いている上司や先輩方も、とても優しく頼りになります。

私は介護という仕事に就き、この職場で働くことができ、とても幸せです。

社会福祉法人 広域福祉事業会 特別養護老人ホーム 中郷記念館

施設長 小川 英彦

福祉に従事されることを目指している中高生のみなさんは、介護老人福祉施設にどのようなイメージを持たれているのでしょうか。ご高齢者のお食事やお風呂やトイレのお手伝いをし、ご高齢者と一緒にゆっくりと過ごすなどのイメージを描いているのではないかと思います。現実とはみなさんのイメージより厳しいものかも知れません。でも、みなさんの笑顔と優しさ、人の尊厳を守る気持ちがあれば、福祉はその厳しさや苦勞を糧にして遣り甲斐のある仕事となるはず。人は十人十色で、長い人生を歩んでこられたご高齢者にも、表情が変わらず対応のわからない方、認知症で同じことを幾度となく話される方など様々な方がいらっしゃいます。初めはどうしたら良いのか戸惑うことでしょう。それが対人援助の難しさですが、それを一つひとつみなさんの笑顔と優しさで気付きと気配りで解決し、ご高齢者を笑顔にしていけるのです。楽しく遣り甲斐のある仕事を一緒にやりましょう。

高校を卒業し、特別養護老人ホーム中郷記念館で働いています。働き始めて3ヵ月経ちますが、支援を行う中でとても大切になると感じた事はコミュニケーションでした。介護の技術的な事は、先輩職員から指導を受け、やれるようになってきました。しかし、コミュニケーションは、色々な症状のある方に合わせて、自分で考え、その方を理解していかなければいけない為、とても難しく大切であると感じました。

また、介護の仕事は、人と触れ合う事でできる一番やりがいのある仕事です。



心と心が繋がった時「ありがとう」と、笑顔で言って頂けた時、その笑顔がいつまでも続けばいいなと思います。その為にも、利用者様が安心、安全に過ごせる為にどうすればよいのかを考え、3年後には信頼される介護福祉士になれるよう日々向上心を持ち、勉強していきたいと思っています。どんなに忙しい時も、笑顔と感謝の気持ちを忘れず、利用者様に寄り添っていきたくです。



ショートステイ担当

鈴木 由梨香

(千葉県立君津青葉高等学校卒)
社会福祉法人 広域福祉事業会
特別養護老人ホーム 中郷記念館

社会福祉法人 慈心会 特別養護老人ホーム 木更津南清苑

施設長 本田 憲康

「福祉の現場」のイメージを、皆さんはどのように考えていますか？実際に施設に来ていただければ明るく清潔な環境、利用者様と介護職員のふれあいの様子に、安心して信頼していただけることと思います。福祉の職場も、有給休暇や育児休暇の取得促進、労働軽減も図られており、働く人にとっても安全で安心な環境になっています。働く人も利用する人も、お互いが気持ちよく過ごせることが大事だと考えています。

利用者の皆様が「生きていて良かった。幸せだった。」と思っていただけの、支えあう施設を目指しています。このような活動を行うために、高齢者の方々を優しく包み込んでさし上げられる、愛情と人間性ある人材を求めています。



社会福祉法人 健仁会 特別養護老人ホーム 千の風・清澄

施設長 吉野 利宏

福祉分野にかかわる仕事をする人は、今も近い将来も絶対に必要です。人とのかわり、人に優しく接し、生きるお手伝いをさせていただくことは、人間愛あふれるやりがいのある仕事です。人の役に立てるって本当に素晴らしいことです。多くの生徒さんが福祉について興味を持ち、福祉に触れ、学んでほしいと思います。

その1つ1つの力がつながり、大きな力となって社会を支え、国を支えてくれることでしょう。若い力に大いに期待しています。